

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年3月25日（木）

2 確認箇所

3号機原子炉建屋1階及び5階オペレーティングフロア

3 確認項目

3号機原子炉建屋の地震計状況の確認

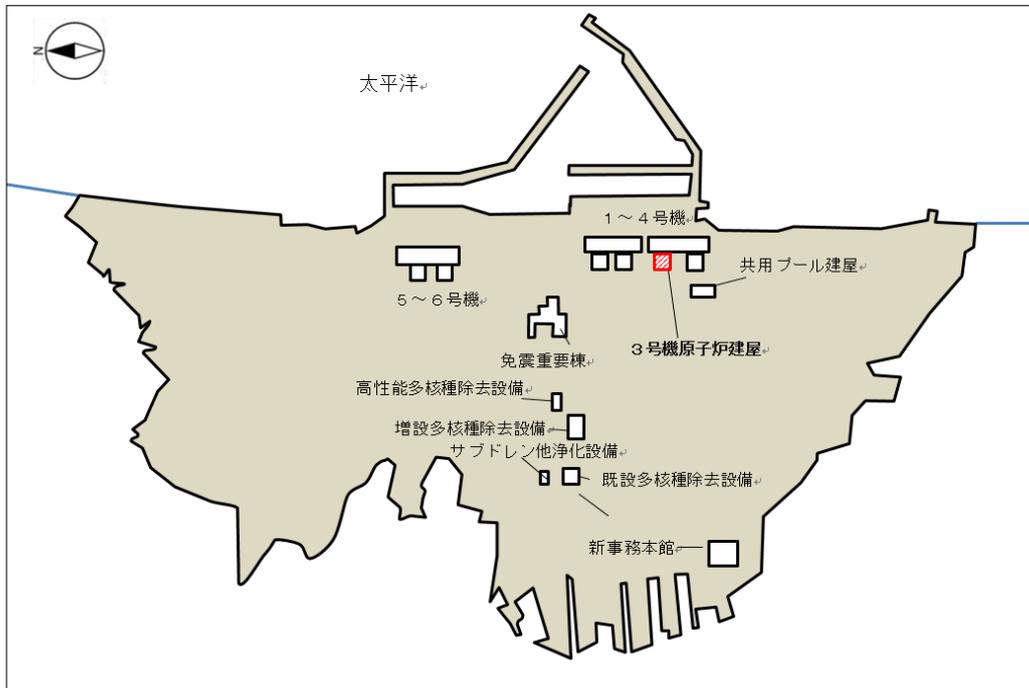
4 確認結果の概要

東京電力は、原子炉建屋の経年変化の傾向把握などを目的として、3号機原子炉建屋に2台の地震計を設置して令和2年4月から試験運用を開始した。しかし、10月までに2台とも故障したことから、令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震データが取得できなかったことを、2月22日開催の原子力規制委員会の検討会で公表^{*}した。これを受けて県では2月25日、いつ発生するか分からない災害に対して緊張感を持って迅速かつ正確な情報提供を行うことよう東京電力に申し入れを行った。

今回、3号機原子炉建屋に新しい地震計が設置されたことから状況を確認した。（図1）

- ・ 1階の地震計については、これまでの設置位置より高いハッチ立ち上がり部に暫定的に設置されていた。また、近傍では当該地震計の基礎の設置工事が進められていた。（写真1）
- ・ 5階オペレーティングフロアにおいても新しい地震計が設置されていた。（写真2）
- ・ 東京電力によれば、地震計の故障に備え予備品を準備するとともに、引き続き故障の原因を調査し、原因が分かった段階で対応を検討するとのことであった。また、本地震計の試験運用実施結果を踏まえ、今後1～2号機へ地震計の設置を進めていくとのことであった。

※ 3号機原子炉建屋の1階と5階オペレーティングフロアに各1台の地震計を設置したが、令和2年7月の大雨により1階の地震計が水没し、10月には5階の地震計の波形にノイズや欠測が確認される故障が発生した。東京電力はノイズ発生原因の調査中のためだったなどとして1階の地震計も含め復旧を行わず、また、公表も行っていなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)

1階の地震計の設置状況

(ハッチ立ち上がり部に地震計を設置)



(写真2-1)

5階の地震計設置状況 1



(写真 2 - 2)

5階の地震計設置状況 2
(地震計は建屋本体に設置)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。